

様式第 1 号（第 1 0 条関係）

2 0 2 5 年度業務実績報告書

提出日 2025 年 12 月 15 日

1. 職名・氏名 教授・道信 良子

2. 学位 学位 博士、専門分野 医療人類学、小児保健、グローバルヘルス、
授与機関 お茶の水女子大学、授与年 2001

3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習

① 担当科目名（単位数） 主たる配当年次等

学部:

看護福祉学部

病気・人間・社会(分担) (第 1 学年)

現代福祉問題論(オムニバス) (第 1 学年)

共生社会論(オムニバス) (第 1 学年)

大学院:

看護福祉学研究科(修士課程)

コミュニケーション特論 (第 1 学年)

医療人類学特論 (第 1 学年)

医療人類学演習 (第 2 学年)

看護福祉研究方法論 (分担) (第 1 学年)

健康生活科学研究科 (博士後期課程)

健康生活科学特論(分担)

健康福祉学特論(分担)

保健医療福祉演習(分担)

健康生活探究特別研究 1

健康生活探究特別研究 2

健康生活探究特別研究 3

② 内容・ねらい

学部:

- 医療と文化のかかわりをわかりやすく解説する。自由な学びをうながす。
- 福祉と文化のかかわりをわかりやすく解説する。自由な学びをうながす。
- 共生社会と文化のかかわりをわかりやすく解説する。自由な学びをうながす。

大学院:

- コミュニケーション特論（第1学年）では、Public Health 領域におけるコミュニケーション理論の習得と実践への応用を目指した。
- 医療人類学特論（第1学年）では、保健医療福祉領域における人類学理論の習得を目指した。
- 医療人類学演習（第2学年）では、保健医療福祉領域における人類学理論の応用を目指した。
- 健康生活科学特論(分担)他、博士後期課程では、国際水準の教育を目指した。
- 健康生活探究特別研究 2 及び 3 において全国誌投稿指導した。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

学部:

- 医療と文化のかかわりを、事例を用いて、わかりやすく解説した。
- 福祉と文化のかかわりを、事例を用いて、わかりやすく解説した。
- 共生社会と文化のかかわりを、事例を用いて、わかりやすく解説した。

大学院:

- コミュニケーション特論（第1学年）では、Public Health 領域の Creative Brief を作成するなど、実践的な学びのための工夫を行った。
- 医療人類学特論（第1学年）では、保健医療福祉領域における人類学理論の習得のために、英語文献を積極的に採用した。
- 修士課程の担当科目や授業において、外国人留学生に配慮した講義を行った。

- 健康生活科学特論(分担)ほか博士後期課程の講義・演習では、学生が国際水準の論文を執筆できるように、英語教材による教育を行った。Outcome-based education の手法を用いて、教育目標を明示し、学生が主体的に研究し、論文を執筆する体制を整えた。
- ゲストスピーカー: Prof. Pamela Block (Professor, Anthropology, Western University)
健康生活科学研究科特別講義 2025.5.1
- ゲストスピーカー: 櫻幸恵(元岩手県立大学教授・一般社団法人ふたば代表) コミュニケーション特論特別講義 2025.10.24

【ゲストスピーカー 2人】

(2)その他の教育活動

内容

- 東京大学大学院、福島県立大学医学部、中部国際医療学院、岐阜県立看護大学大学院など、合計 5 校で、医療人類学、ヘルス・コミュニケーション、ヘルス・エスノグラフィの講義・演習を行った。
- 博士課程の論文指導を行った。実績は下記の通りである。
 1. 加藤真由「知的障害と自閉スペクトラム症をもつ子どもの思春期の心と体に関する養育経験：健康相談の質的記述的分析」福井県立大学論集 印刷中
 2. 竹内智子「超重症心身障がい者のケアにおける多職種協働 エスノグラフィによる現場研究」第 59 回日本文化人類学会学術大会（2025 年 6 月 7 日）分科会演題（口頭発表）
 3. 竹内智子「超重症心身障がい者の日常生活ケア—看護と福祉の協働に関するエスノグラフィ」日本保健医療行動科学会雑誌 印刷中

4. 研究業績

(1)研究業績の公表	
① 著書	
1. 『チームで取り組むせん妄ケア 第2版 予防からシステムづくりまで』 長谷川真澄・粟生田友子編著（第6章 『せん妄』の体験を理解する 道信良子） 医歯薬出版株式会社 2025年7月 刊行	
2. 『ウェルディング（死への旅路）の臨床社会学』 櫻井義秀・横山 聖美編著（第5章 「家庭の医療」——高齢期を生きる人びとのヘルス・エスノグラフィ 道信良子・佐藤弘太郎） 法蔵館 2025年9月 刊行	
	【2本】
② 学術論文（査読あり）	
1. ＊道信良子「子どもの生命（いのち）を大切にする社会づくり——小児がんの子どもたちが生きる姿を通して」 質的心理学研究 24(1): 157-165, 2025	
2. 加藤真由、 <u>道信良子</u> 、川村みどり「知的障害と自閉スペクトラム症をもつ子どもの思春期の心と体に関する養育経験：健康相談の質的記述的分析」福井県立大学論集 印刷中	
	【2本】
③ その他論文（査読なし）	
1. ＊道信良子「やすむ・ねる——『いのちの交わり』と『いのちの希望』の視点から」 発達 181: 15-22, 2025	
2. ＊道信良子「こどもと家族のヘルス・エスノグラフィ——質的研究における分析の単位と数」日本保健医療行動科学会雑誌 印刷中	
3. ＊道信良子「ヘルス・エスノグラフィ 人間のケアと語りの普遍性に照らして、人間の生きる営みをとらえ、あらわす」看護実践研究学会第7回学術集会教育講演記録 看護実践研究学会誌 印刷中	
	【3本】

④ 学会発表等 1. *道信良子「保健医療福祉専門職によるエスノグラフィー—専門領域で研究することの難しさと醍醐味」 第 59 回日本文化人類学会学術大会 2025 年 6 月 7～8 日（筑波大学筑波キャンパスつくば市）分科会代表としての趣旨説明 2. *道信良子「こどもとかぞくのエスノグラフィー—分析の単位を問う」第 39 回日本保健医療行動科学会学術大会 2025 年 6 月 21～22 日（明海大学浦安キャンパス、浦安市） 3. *道信良子「ヘルス・エスノグラフィー—ケアと語りの普遍性に照らして、『生の営み』をとらえ、あらわす」看護実践研究学会第 7 回学術集会教育講演（岐阜県羽島市, 2025, 9） 4. *道信良子「いのちの営みをとらえる—一人と家族のヘルスエスノグラフィ」日本家族看護学会第 32 回学術集会オンデマンド講義 札幌市, 2025, 9 【4 件】
⑤その他の公表実績
(2)科研費等の競争的資金獲得実績
[学外] 1. 2024 年 4 月～継続中 子ども、家族、医療者をつくる小児がん治療の子ども向け意思決定ガイド（研究代表者：道信良子）科学研究費補助金基盤 C 2. 2019 年 4 月～継続中 “応援” 概念に基づく精神障害をもつ人の子育て支援アプローチの開発に関わる研究（研究代表者：澤田いずみ）科学研究費補助金基盤 C [学内] 3. 児童文学を用いて、小児がんの子どもの意思決定支援に必要な「ことば」は何かを見つける—小児がん看護ケア教育に応用するモジュール型教育教材の開発（研究代表者：道信良子） 令和 7 年度戦略的課題研究推進支援 4. 小児がん医療の長期フォローアップにおける協働意思決定とアドボカシーの人類学的考察（研究代表者：道信良子） 2025 年度 看護福祉学部研究計画書〔KF 枠研究費〕 【4 件】
(3)特許等取得

(4)学会活動等

1. 日本保健医療行動科学会理事
2. 日本医学教育学会推薦代議員・国際化委員会委員
3. Maham STANYON, Noriyo COLLEY. JSME FRINGE：参加者が伝統的な形式を超えて革新的で多様なプレゼンテーションを体験する双方向型ワークショップ（日本医学教育学会 57 回大会国際化委員会企画 2025.7/27 秋田大学）ファシリテーターでの参加
4. English session 日本医学教育学会 57 回大会 2025.7/27 秋田大学 司会
5. 学会誌・国際誌査読

2024 年～現在

Journal of Clinical Nursing (John Wiley & Sons)

BMC Research Notes (Springer Nature)

小児保健研究

Cancer Medicine (John Wiley & Sons)

JCO Global Oncology (ASCO Publications: An American Society of Clinical Oncology Journal)

BMC Medical Informatics and Decision Making (Springer Nature)

2025 年～現在

Psycho-Oncologie (Lavoisier, France)

BMJ Open (BMJ Publishing Group)

BMC Psychology (Springer Nature)

5. 地域・社会貢献活動

6. 大学運営への参画

(1)補職
(2)委員会・チーム活動
1. 福井県立大学論集委員 (R7.4.1～) 2. 看護福祉学部研究活性化 WG 委員 (R7.4.1～)
(3)学内行事への参加
1. 社会福祉学科オンラインキャンパス参加 2025.8.30
(4)その他、自発的活動など